

平成 13 年度 衛生学 2 学期期末試験問題 (大槻担当分) ならびに  
回答用紙

☞☞☞☞ 問題は試験終了後、事務室にて掲示いたします。☞☞☞☞  
☞

したがって今学期は、本用紙に直接回答を記入すること。!!!

.....  
.....

1. 以下の平成 12 年度のわが国の統計のうち正しいものを選び (○ 2 つ)。

- a. 度数率 ..... 0.18
- b. 強度率 ..... 1.82
- c. 死亡者数 ..... 1,889 人
- d. 死傷者 1 人平均労働損失日数 ..... 99.1 日
- e. 建設業の労働災害死亡者総数に対する割合 ..... 14.3 %

2. 平成 12 年度 度数率の高さ 上位 3 位に入らないもの (○ 2 つ)。

- a. 鉱業            b. サービス業 c. 運輸・通信業
- d. 製造業        e. 電気・ガス・熱供給・水道業

3. 比較的予後のよい塵肺症を選び (○ 2 つ)

- a. 珪肺症        b. 酸化鉄肺            c. 石綿肺
- d. アルミナ肺 e. 溶接工じん肺

4. 農薬と中毒の発症機序の本体組み合わせで正しいものはどれか (○ 2 つ)。

- a. 有機リン系殺虫剤 ..... コリネステラーゼ活性の阻害
- b. カルバメート系殺虫剤 ..... 酸化リン酸化の阻害
- c. パラコート ..... ポリフィリン環生成障害
- d. フェノール系除草剤 (クロロフェノール) ..... 神経受容体の阻害
- e. モノフルオロ酢酸 (殺鼠剤) ..... アセチル CoA の代謝抑制

5. 皮膚癌の原因物質はどれか (○ 2 つ)。

平成 13 年度 衛生学 2 学期期末試験問題 (大槻担当分) ならびに  
回答用紙

☞☞☞ 問題は試験終了後、事務室にて掲示いたします。☞☞☞  
☞

したがって今学期は、本用紙に直接回答を記入すること。!!!

.....  
.....

- a. 砒素          b. ベンゼン      c. マスタードガス
- d. パラフィン e. オーラミン

6. 農夫肺について正しい記載を選べ (○2つ)。

- a. 本体は肺の気腫性変化である。
- b. 農薬中毒である。
- c. 組織学的には肉芽腫形成が特徴である。
- d. 原因はカビである。
- e. 発症者には管理手帳が配付される。

7. 職業性皮膚障害について正しい文章を選べ (○2つ)。

- a. 酸による腐蝕症は、即時型アレルギーによる。
- b. 実験動物の毛により感作性皮膚炎を起こすことがある。
- c. 感作性皮膚炎では量-反応関係が成り立つ。
- d. 多くの職業性接触性皮膚炎原因物質はハプテンとして働く。
- e. パッチテストでは有害物の溶液を皮膚に滴下し針で皮膚を刺激する。

8. 度数率として正しいものを選べ (○1つ)

- a. 100 万延労働時間当りの労働災害による休業 1 日以上の死傷者数。
- b. 100 万延労働時間当りの労働災害による労働損失日数。
- c. 10 万延労働時間当りの労働災害による休業 4 日以上の死傷者数。
- d. 1,000 人延労働者数に対する災害発生件数。
- e. 労働災害の重篤度を示す。

9. じん肺法によるじん肺の合併症として誤ったものはどれか (○1つ)

平成 13 年度 衛生学 2 学期期末試験問題 (大槻担当分) ならびに  
回答用紙

☞☞☞☞ 問題は試験終了後、事務室にて掲示いたします。☞☞☞☞  
☞

したがって今学期は、本用紙に直接回答を記入すること。!!!

.....  
.....

- a. 続発性気管支拡張症      b. 結核性胸膜炎      c. 肺結核症  
d. 続発性気胸 e. 肺胞蛋白症

10. 農薬中毒の治療として**禁忌**はどれか (○1つ)

- a. 有機リン系殺虫剤 ..... PAM  
b. カルバメート系殺虫剤 ..... アトロピン  
c. パラコート ..... 酸素吸入  
d. フェノール系除草剤 (クロロフェノール) ..... 副腎皮質ステロイド剤  
e. モノフルオロ酢酸 (殺鼠剤) ..... アセトアミド

11. 以下のうち Ames' test に関連の**ある**ものはどれか (○1つ)

- a. ボツリヌス菌      b. 酸素ラジカル      c. 姉妹染色分体交換  
d. 突然変異      e. メチルグアニン

12. 陶磁器製造業に 30 年来従事している 63 歳の男性。じん肺 X 線で両肺野に  
粒状影が多数あるも、大陰影はなし、しかし、著しい肺機能障害を認めた。**正  
しい**管理区分と事後措置の組み合わせを選べ (○1つ)

- | 管理区分             | 事後措置 |
|------------------|------|
| a. 2 ..... 療養    |      |
| b. 3口 ..... 作業転換 |      |
| c. 3口 ..... 療養   |      |
| d. 4 ..... 療養    |      |
| e. 4 ..... 作業転換  |      |

13. 以下のうち歯牙酸蝕症の原因**ではない**ものはどれか (○1つ)

平成 13 年度 衛生学 2 学期期末試験問題（大槻担当分）ならびに  
回答用紙

☞☞☞☞ 問題は試験終了後、事務室にて掲示いたします。☞☞☞☞  
☞

したがって今学期は、本用紙に直接回答を記入すること。！！！！

.....

.....

- a. 苛性アルカリ      b. SO<sub>2</sub> c. Cd
- d. F<sub>2</sub> e. Cl<sub>2</sub>

14. 以下の職業性肺疾患についての組み合わせで間違いを選べ（○1つ）

- a. 胸膜プラーク      ..... 石綿肺
- b. パラコート中毒      ..... 肺線維症
- c. *Micropolyspora faeni*      ..... アレルギー性肺炎
- d. イソシアネート      ..... 喘息
- e. ナフチルアミン      ..... 肺がん